

特定非営利活動法人エフエムわいわい

Nonprofit Organization FMYY(En)

Organización sin fines de lucro FMYY(Es)

Tổ chức NPO FMYY(Vt)

特定非営利活動法人エフエムわいわい 2020 年度事業報告書

◆総括

1995 年の震災から始まった「コミュニティの必要に応じ、コミュニティの人々からの受発信」として生まれた「FM わいわい」(以後 FMYY)。

その求めるところは、時間の経過、社会変化、配信形態の変化があっても、26 年前の阪神・淡路大震災の被災地での「等しく情報が届いているか？違いのある人々に気づく」という基本理念が脈々と繋がり、だれもが自分らしく生きる社会構築のため声を上げる「場」であるということにかわりはない。



この地の震災が生み出した FMYY は『言語のバリアーを越えていく！』というツールであると同時に、「ひとり一人の声を聴く」「年齢、性別、属性などいろんな違いに寄り添う存在」であることは、「コロナ災害」においてもオンラインを活用した語りの場を継続できたことは、うれしいことであった。(写真は Zoom で制作した YY キッズラジオ)

スタジオでの出演の場合は、人数制限、24 時間換気、入室前ドアの開け放し、手作りの透明遮蔽板をスタジオに設置し、非接触体温計、足踏み式アルコール消毒スタンドなど可能な限り感染予防に努め配信に及んだ。またそれぞれの外国語番組における「感染予防諸注意」そして日本ではそれまで流通していなかった文言「非常事態宣言」「蔓延予防措置」などの日常生活での対応や特に「非常事態宣言」の翻訳については本国での文言の使用用途と日本での意味合いの違いからくる誤解が起こらないようにすることに留意するなど、定住外国人にもいろんな支援対策が届くと共に、自己管理のための知識共有にも配慮した。

(写真はスタジオでの配信風景、出演者の間隔、間にクリアな遮蔽板、消毒液常備)

また、コミュニティラジオを通じた海外とのネットワーク、経験共有はコロナ禍にもめげずに継続し、特にインドネシアと続けているコミュニティラジオを活用した防災力の強化事業は、ネパールなど他の地域にも共有が進んでいる。



I 事業

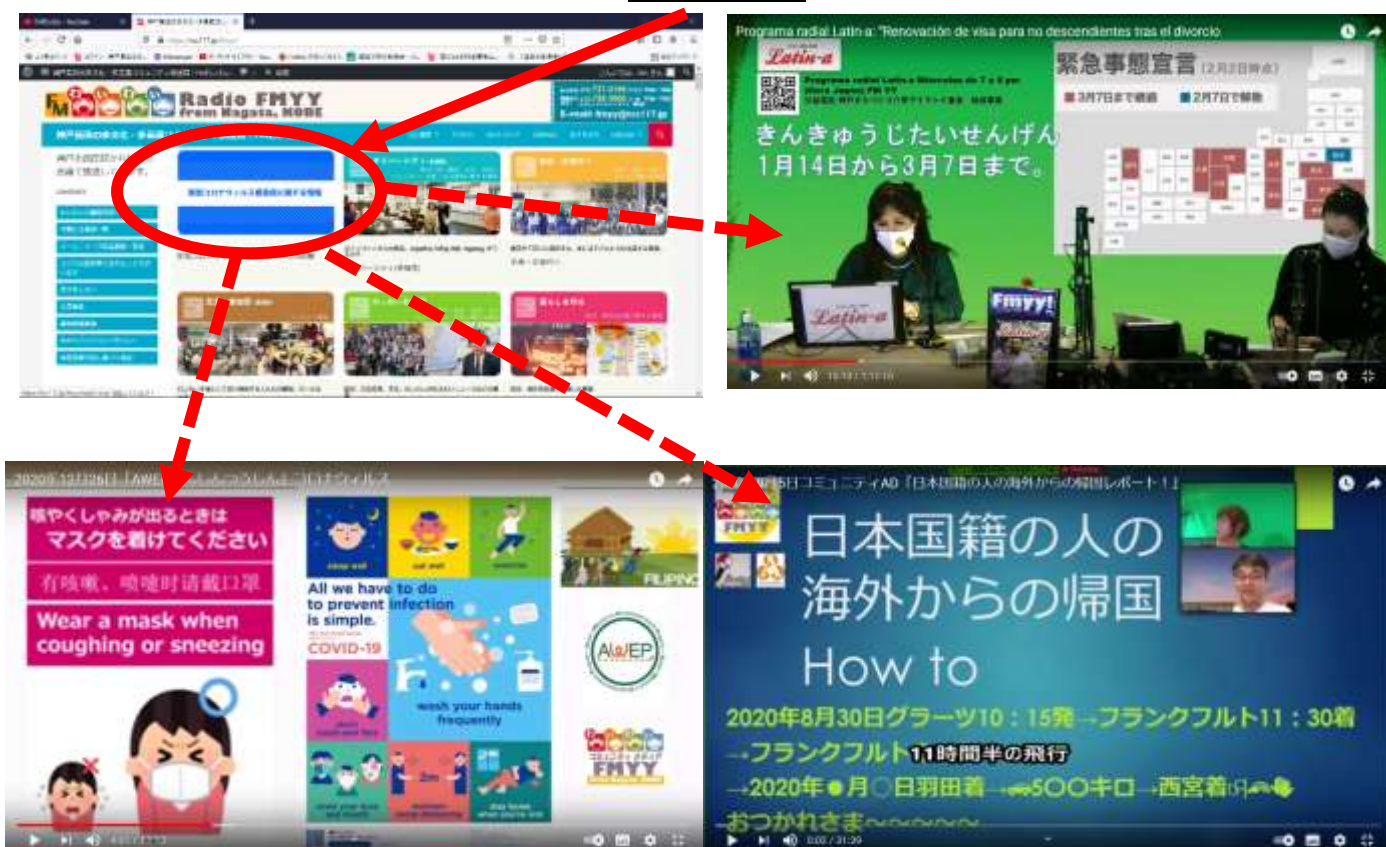
(1) 多文化共生のまちづくりに資するコミュニティメディア事業

ア) コミュニティメディアとしての事業

FMYY ホームページの音源掲載（オンデマンド配信）、と連携した Podcast、YouTube を使った動画。

①番組の配信形態・配信システム全般について

- FMYY ホームページの音源掲載/Podcast でのアーカイブ化
- 2020 年 5 月 Web サイトにコロナ感染症関連の情報集約タグを制作。



- 関西学院大学総合政策学部山中研究室との連携事業と学生番組。

新型コロナウイルスというのは、新たな災害とも言える。その渦中にある次世代を担う学生たちに、避難所とも言える自宅、下宿での生活についての生活について映像番組制作を実施。

阪神・淡路大震災を知るための「データ」「人が語る」という 2 種類の動画制作を実施。次年度これを次世代の学生が視聴し、アンケート形式で災害に対する知恵の継承に必要なキーワードを抽出。

今後の災害に対してメディアが果たす役割について検証する。その 2 年目とした。



(左の写真はデータで読み解く阪神・淡路大震災。右下の写真は関西学院大学の学生制作番組)



- 第1次第2次非常事態宣言を受け、カトリックたかとり教会の方針に合わせて遠隔での録画配信。
- STAYHOME の対応をされる番組担当者の番組は現在配信休止。
- 番組内音源は著作権に対しての承諾のあるもののみの対応。
- 番組内使用音源は、制作者と覚書を交わし活用。
- 収録番組の場合は Zoom 機能や Line テレビ電話機能など相手に合わせたオンライン対応で収録。

②配信番組

カテゴリー	番組名	放送形態
ダイバシティ	スペイン語番組「Latin-a」	週 1 YouTube/Facebook 生配信
	ベトナム語番組「HÃY AN NHIÊN MÀ SỐNG」	月 2 YouTube/Facebook 録画 Zoom 中心
	タガログ語番組「AWEP あんしんつうしん」	月 1 YouTube/Facebook 録画編集
	韓国・朝鮮語番組「즐거운 잔소리 시간」	5 月から休止
	奄美専門チャンネル「南の風」	5 月から休止
	らの会わいわい by ネットワークながた	月 1 YouTube/Facebook/Zoom 中心
社会への提言	コミュニティ AD	随時 YouTube/Facebook 録画クロマキー
未来・次世代	わいわいキッズラジオ	月 1 月 1 YouTube/Facebook/Zoom 収録
	放課後ジュニアラジオ部	月 1 月 1 YouTube/Facebook/Zoom 収録
交流・参加 (居場所)	ワンコイン番組	非常事態などに合わせ対応
	街ブラ～人と街とくらしを探る	月 1 YouTube/Facebook 録画クロマキー
	ゆうかりに乾杯！	5 月から休止

*その他に他団体による FMYY の配信設備を活用した情報発信を行った。

- ・神戸市兵庫区社会福祉協議会のコロナ感染予防の情報提供動画に呼応した質疑応答。



2020 年度は世界的パンデミックがおき、オンラインでの情報発信を各種業態が急遽求められた。カメラ、マイクだけではなく、通信環境や照明、防音など聞き手の快適さを担保する事は、実は容易では無い。時には必要なものが何か分からない。その点、わいわいにはラジオ時代から必要な資機材がスタジオという資産に集約されており、近年は YouTube live の配信と言った知見も整っている。わいわいが他者と協働し配信を支える事は最初の一步を踏み出す上で多くの市民活動の後押しとなる。

私(FMYY 理事長谷部治)が働く社会福祉協議会でもわいわいの YouTube Live を活用して、『手洗い、消毒、換気、ハンドケア』をテーマに講座を配信した。パンデミックという災害下においてわ

いらいが、後押しできる市民活動はまだまだあるのではないだろうか。

③動画制作

「1.17KOBE に灯りを in ながた」学校でのロウソクづくりが中止となり、動画で1995年の震災について、そして去年度まで実施していたロウソクづくりについて紹介動画を制作し、動画を活用して講和を実施。

「神戸市中央区社会福祉協議会」家族が認知症になった時の心構えなど、中高生対象の勉強会用動画。

「Opera di FIORE」芸術家たちも公演やライブが中止、ネット配信用動画の制作を行った。



④多様性の発信イベント

日時	名称	参加形態
4/29	第16 長田の園遊会 花水木まつり	中止
7/17・18	夏越ゆかた祭 ゆかたでナイト2020	中止
8/1.2	大国公園なつまつり	中止
10/11	第17 回輝け！集まれ！ながたっ子祭	中止
11/22	第26 回一七市拡大版2017 『あの日に思いやりの心』を忘れぬために～改めて災害に備える心～	中止
1/17	第22 回 1.17KOBE に灯りを in ながた	竹募金の回収とお渡しのみで開催。

※ほぼすべてのイベントが中止となった。

(2) 災害の被災者支援・防災力強化事業

ア) 防災力強化海外事業

①インドネシアでの災害ラジオを活用した地域防災力強化



学校の先生達がラジオを使って授業を行っているのだ。子ども達は教科書を開いて、ラジオ受信機や携帯電話に付いているFM受信アプリから流れてくる先生の授業を聴く。質問はSMSで先生に送り、先生は電波を通して、その質問を読み上げ、答えを伝える、という双方向の授業が続けられている。



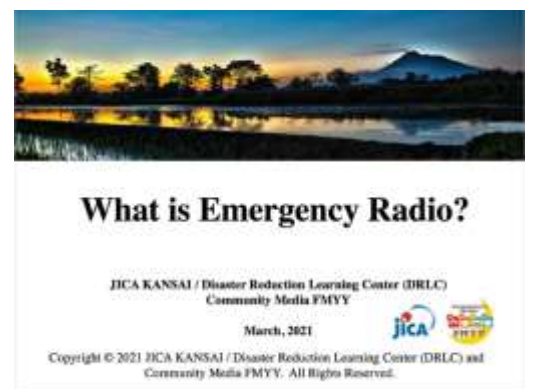
インドネシア、日本、南アジア（ネパール、インド、バングラデシュ、パキスタン）の災害ラジオの現在と課題を共有するオンライン国際セミナーを開催。

2017年7月からスタートしたJICA 草の根技術協力事業フェーズ2「官民協働によるコミュニティラジオを活用した防災力強化事業」（事業期間：2017年7月から2021年7月まで）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、FMYYの担当スタッフの現地渡航ができず、現地スタッフの事業実地地域での活動が制限され、オンラインベースでの活動を軸に事業を進めた。

特筆すべきことは、遠隔教育を目的とした臨時“災害”ラジオ局の開設支援に力を入れたことである。コロナ禍で現地の小中学校も閉鎖になり、オンラインで授業が実施されたが、小中学校の多くは村落にあり、さくさく早いインターネット環境がある訳ではなく、パソコンやタブレットがある家庭はほんの僅かである。また、インターネット端末があったとしても、インターネットへのアクセス料金はほとんど従量制で、とても毎日毎日数時間分を払えるような余裕はない。そうした厳しい環境にある子ども達の教育の機会を保障するために、遠隔教育を目的とした臨時“災害”ラジオ局の開設支援や遠隔教育を目的とした臨時ラジオ局の法制度の整備に努めた。2021年度のオンラインを軸に事業を進めていくことになり、事業期間を2022年3月15日まで延長する予定である。

②「コミュニティラジオと防災」をテーマにしたオンライン教材の制作

阪神・淡路大震災。東日本大震災やインドネシアの被災地で救援、復旧、復興を支えてきた災害ラジオやコミュニティラジオの活動を、世界に伝えるために、英語と日本語のオンライン教材をJICA 関西と制作した。ナレーション付きのスライド約90枚と映像3本から構成されている。2021年度からJICA研修やAMARCを通して活用される。



③関西学院大学総合政策学部山中研究室との共同調査

関西学院大学総合政策学部山中研究室と協働で実施する「災害後世代による災害記憶の継承に関する国際共同調査（2020～2022）」において、FMYYのJICA 草の根事業の実施地域であるインドネシアのムラピ山とジョグジャカルタで災害記憶（ムラピ山噴火2010年、ジャワ中部地震2006年）の継承に関する震災後世代に対する意識調査をアトマジャヤ大学ジョグジャカルタと協力して実施した。2021年度はインドネシアコミュニティラジオ協会、アトマジャヤ大学ジョグジャカルタと協力して、ムラピ山麓のコミュニティラジオ局で災害記憶継承番組の制作／放送、および、その番組視聴者に対する視聴

反応調査を実施する。

イ) 防災力強化国内外共通事業

①神戸市危機管理室との連携

神戸市危機管理室と2020年6月覚書締結が完了。「行政から流れる情報へ外国人がアクセスする」という思考から、すでに多くのリスナーを持つ定住外国人コミュニティの番組配信継続を支援ということで、やっと締結。少額ながら、ベトナム夢 KOBE、アジア女性自立プロジェクト、ひょうごラテンコミュニティ、MasayangTahanan にその支援金として分配することができた。今回のコロナ災害におけるコミュニティからの情報配信の有用性が大きなインパクトとなった。

②隔月開催の神戸復興塾 311 支援集会

被災地支援の情報共有や訪問者があった時に報告者として参加。

③包摂都市ネットワーク・ジャパン委員会に参加

「外国籍住民との共生」について Zoom でのセミナー参加や登壇。

④在日ベトナム人コミュニティ向け防災セミナー

JICA 関西がスタートした国内における在住ベトナム人防災リーダー育成事業の企画づくりに参画し2020年12月と2021年3月に、日本における防災の取組を学ぶ機会を学ぶセミナーの実施に協力した。2021年度も継続してこの事業に協力をしていく。

⑤JICA 関西の企画展示（「防災と多文化共生」に出展）

JICA 関西で2020年12月1日（火）から2021年4月25日（日）まで「防災」「多文化共生」をテーマに開催された企画展示で FMY の開局時の機材や神戸、インドネシア、ネパールでのコミュニティラジオと災害ラジオに関する活動写真の展示を行った。



⑥東日本大震災 10 年オンライン防災に参加

東日本大震災から10年を迎えた東北の人たちが中心になって、国境を越えた防災の取り組みを学ぶオンラインイベント（2021年3月6日開催）に参加し、インドネシアのムラピ山と同時中継し、Lintas Merapi FM（Sukiman さん）や Cangrangan（Andi さん）でのコミュニティ防災の取り組みを、Cangrangan で博士論文を執筆した間中光さんをモデレーターに伝えた。

(3) 多文化共生のまちづくりに資する場づくり、研究、教育、啓発事業

ア) 教育現場との連携

①大学・高校・中学・小学校・研究者(国内外)

形態	大学・研究者(国内外)
インターン受け入れ	ほぼすべての大学が自粛。
講義(非常勤講師)	神戸親和女子大学、神戸常盤大学、兵庫県立大学、神戸学院大学、神戸神港橋高校、関西学院大学、龍谷大学、同志社大学、立命館大学
研修/フィールドワーク	ふたば学舎震災学習、JICA 関西ベトナム人コミュニティの防災力アップ、

番組を活用した調査	関西学院大学総合政策学部メディア情報学科山中速人研究室「10年目の継続取材、阪神・淡路大震災の経験を語り継ぐ」
JICA 関西訪問プログラム	中学生や小学生の番組担当者に、JICA 関西での講義・防災展示見学をすることで世界との接点を実感してもらう機会とした。

イ) 企業との連携

NPO 広報力向上委員会「伝えるコツ」委員会委員。

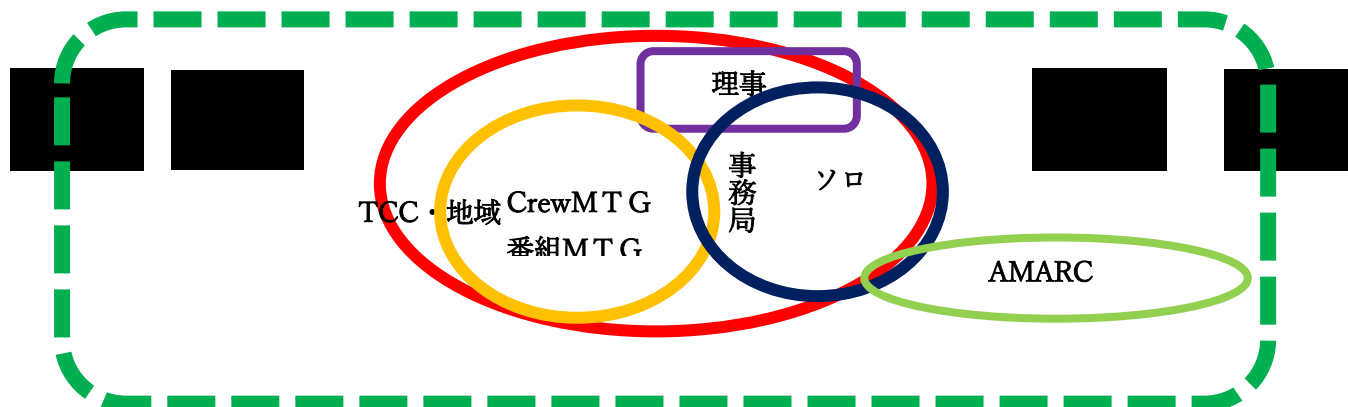
大丸神戸での社員向け広報力アップ講座を開催。

ウ) NGO と行政の連携(NGO/NPO 団体と JICA 関西や研究者などをつなぐ)

兵庫・国際協力同士の会(HYOMIC)の幹事団体としてセミナーを2回開催した。

II 管理・運営

(1) 団体の運営体制



データベース強化 ホームページの将来像を 見据えた一部改訂	・Salesforce 研修を受講した大川から事務局全体にその活用方法の共有する予定 ・三菱・赤い羽根助成金で外国人住民のアクセスが簡便になるための改定を委託。
-------------------------------------	---

運営形態		
FMY 事務局	火・木・土	大川（時短）金・緒方・古寺・日比野・岡戸
理事		大川・金・日比野・長谷部・大坪・大城・橋爪・李(8名)
監査	年度末	森崎・高
会計	火・木	古寺
正会員	会員総会	大川・金・緒方・日比野・長谷部・大坪・橋爪・李・高松・佃・神田吉富・金山(勉)・金山(知)・小川・中村・中嶋・和田・松浦・吉野・関本・坂田(渡部)・大城ロクサナ・野田北ふるさとネット(24名)
賛助会員	会員総会	17名(3口の方1名)
一般会員	会員総会	53名

NEWS 購読者 一般会員	適宜会員総 会	2021 年 5 月現在登録者数 336 名。2020 年 11 月から配信方法変更
防災連絡網 CrewML	適宜適宜	LINE で配信
防災連絡網	適宜	LINE で配信

(2) 2020 年度決算・監査

別紙参照

(3) ファンドレイジング

個人寄付：FMYY の名前で大学の講義/司会/フィールドワーク対応などの事業を行った場合、2 割を FMYY 会計に個人寄付として入れる。FMYY への直接振り込みの場合は、2 割を寄付

企業寄付：日本フィランソロピー協会の推薦により、大和ハウスグループの従業員の方々から寄せられた寄付（2021 年度エンドレス募金）を頂くことになった。2021 年 11 月と 2022 年 5 月の二回（一回 25 万円以上）。

一般寄付：上記とは別の純粋な寄付。

使途指定寄付：使途を指定しての寄付。

(4) アカウンタビリティセルフチェック＝ASC

JANIC(下記 URL を参照。国際協力 NGO センター)が提唱するセルフチェックを行い、2018 年 6 月より実施したことを証明するマークを取得した。FMYY のいろんな広報ツール(チラシ、名刺など)に活用している。

<http://link.janic.org/more/accountability/selfcheck/>



(5) その他特記すべきこと

第 46 回 放送文化基金賞 受賞 https://www.hbf.or.jp/awards/article/46_bunka#s2

阪神・淡路大震災から 25 年にわたる地域ラジオ活動、及び全国・海外の被災地ラジオ支援活動

◆2019 年度 総会開催

日 時：2020 年 6 月 27 日（土）13 時から 15 時まで

場 所：FMYY スタジオからのネット配信

◆2019 年度 理事会開催

第一回

日 時：2020 年 6 月 13 日（土）9 時半から 11 時半まで

場 所：ネット会議

第二回

日 時：2020 年 7 月 5 日（日）19 時から 20 時まで

場 所：ネット会議

第三回

日 時：2020 年 11 月 17 日（火）18 時から 20 時まで

場 所：ネット会議

2020年度 活動計算書

2020年04月01日～2021年03月31日

特定非営利活動法人 エフエムわいわい (円)

	科目	予算額	決算額	予算残額
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
受取会費				
	正会員受取会費	132,000	132,000	0
	賛助会員受取会費	200,000	190,000	-10,000
	一般会員受取会費	180,000	106,000	-74,000
	受取会費計	512,000	428,000	-84,000
受取寄付金				
	一般寄付金	200,000	248,469	48,469
	使途指定寄付金－放送	0	500,000	500,000
	個人寄付	20,000	15,000	-5,000
	持続化給付金	2,000,000	0	-2,000,000
	受取寄付金計	2,220,000	763,469	-1,456,531
受取助成金等				
	受取地方公共団体補助金			
	－ 神戸市	0	222,853	222,853
	受取民間助成金			
	－ 赤い羽根共同募金	0	200,000	200,000
	受取助成金等計	0	422,853	422,853
事業収益				
	コミュニティメディア事業収益			
	－ 受託料	1,200,000	1,078,833	-121,167
	－ 放送料	800,000	1,028,735	228,735
	－ 1コイン番組	10,000	8,720	-1,280
	－ 機材	0	6,000	6,000
	イベント・運営事業収益			
	－ 受託料	0	0	0
	コンテンツ企画・運営事業収益			
	－ 受託料	400,000	570,000	170,000
	災害支援事業収益	0	813,300	813,300
	研究・教育・啓発事業収益			
	－ 受託料	100,000	236,883	136,883
	－ 謝礼	0	106,825	106,825
	JICA防災プロジェクト収益			
	－ 受託料	11,000,000	8,842,102	-2,157,898
	事業収益計	13,510,000	12,691,398	-818,602
その他収益				
	受取利息	2,000	1,547	-453
	雑収益	4,000	2,300,000	2,296,000
	その他収益計	6,000	2,301,547	2,295,547
	経常収益合計	16,248,000	16,607,267	359,267
(2)経常費用				
事業費				
【人件費】				
	人件費	4,000,000	5,234,400	-1,234,400
	法定福利費	500,000	522,710	-22,710
	通勤交通費	100,000	103,890	-3,890
	【人件費計】	4,600,000	5,861,000	-1,261,000
【その他費用】				
	諸謝金	275,000	676,741	-401,741
	移動費(JICA)	10,000	1,770	8,230
	旅費交通費	100,000	100,100	-100
	航空費(JICA)	500,000	0	500,000
	その他旅費(JICA)	600,000	0	600,000
	会議費	30,000	8,658	21,342

2020年度 活動計算書

2020年04月01日～2021年03月31日

特定非営利活動法人 エフエムわいわい (円)

科目	予算額	決算額	予算残額
施設使用料	25,000	8,400	16,600
ネット放送費	16,200	0	16,200
権利料	33,000	15,840	17,160
通信運搬費	146,000	199,071	-53,071
消耗品費	402,500	352,258	50,242
研修費	20,000	7,650	12,350
海外活動諸費	3,000,000	2,255,079	744,921
印刷製本費	54,500	13,931	40,569
レンタル料	10,000	0	10,000
国内活動業務費	100,000	130,260	-30,260
事業関連経費	350,000	128,195	221,805
保険料	125,000	0	125,000
共益費	15,000	0	15,000
水道光熱費	16,000	52,645	-36,645
外注費	20,000	19,400	600
委託費	2,080,000	1,614,476	465,524
支払手数料	18,500	15,030	3,470
租税公課	20,000	2,159	17,841
寄付金支出	600,000	621,817	-21,817
支払寄付金	10,000	0	10,000
雑費	5,000	265	4,735
減価償却費	350,000	360,366	-10,366
【その他費用計】	8,931,700	6,584,111	2,347,589
事業費計	13,531,700	12,445,111	1,086,589
管理費			
【人件費】			
給料手当	320,000	325,600	-5,600
通勤交通費	120,000	11,436	108,564
【人件費計】	440,000	337,036	102,964
【その他費用】			
諸謝金	580,000	480,000	100,000
旅費交通費	2,000	0	2,000
会議費	15,000	39,654	-24,654
通信運搬費	15,000	11,856	3,144
広告宣伝費	70,000	70,000	0
消耗品費	10,000	26,932	-16,932
研修費	100,000	0	100,000
印刷製本費	5,000	917	4,083
修繕費	5,000	8,564	-3,564
保険料	25,000	21,000	4,000
水道光熱費	3,000	19,832	-16,832
顧問料	100,000	110,000	-10,000
委託費	150,000	183,000	-33,000
諸会費	120,000	116,500	3,500
支払手数料	20,000	28,956	-8,956
消費税	500,000	665,700	-165,700
租税公課	10,000	110,200	-100,200
寄付金支出	90,000	98,183	-8,183
支払寄付金	50,000	0	50,000
雑費	10,000	7,695	2,305
【その他費用計】	1,880,000	1,998,989	-118,989
管理費計	2,320,000	2,336,025	-16,025
経常費用合計	15,851,700	14,781,136	1,070,564

2020年度 活動計算書

2020年04月01日～2021年03月31日

特定非営利活動法人 エフエムわいわい (円)

科目	予算額	決算額	予算残額
当期経常増減額	396,300	1,826,131	-1,429,831
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
過年度損益修正益	0	67,303	67,303
経常外収益合計	0	67,303	67,303
(2)経常外費用			
為替差損	0	42,200	-42,200
過年度損益修正損	0	4	-4
経常外費用合計	0	42,204	-42,204
税引前当期正味財産増減額	396,300	1,851,230	1,454,930
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期正味財産増減額	324,300	1,779,230	1,454,930
前期繰越正味財産額	3,088,109	3,088,109	0
次期繰越正味財産額	3,412,409	4,867,339	1,454,930

2020年度 貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	471,154		
当座預金	713,793		
普通預金	14,130,636		
未収金	506,053		
流動資産合計		15,821,636	
固定資産			
建物付属設備	1		
什器備品	434,757		
電話加入権	114,984		
固定資産合計		549,742	
資産合計			16,371,378
負債の部			
流動負債			
未払金	1,561,179		
未払法人税等	72,000		
前受金	5,063,890		
預り金	103,270		
未払消費税	665,700		
流動負債合計		7,466,039	
固定負債			
長期借入金	4,038,000		
固定負債合計		4,038,000	
負債合計			11,504,039
正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,088,109	
当期正味財産増減額		1,779,230	
正味財産合計			4,867,339
負債及び正味財産合計			16,371,378

2020年度 財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい (円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		471,154		
--小口現金		18,068		
--小口1(金)		30,184		
--ペイパル		84,112		
--インドネシア現金		47,143		
--インドネシア現金2		291,647		
当座預金		713,793		
--郵便振替口座		713,793		
普通預金		14,130,636		
--三菱UFJ銀行		5,816,868		
--ゆうちょ銀行(JPF1と消費税)		1,131,374		
--ゆうちょ銀行(JICA)		4,036,656		
--みなと銀行		8,270		
--ゆうちょ銀行(JPF2)		2,312,771		
--インドネシア民衆銀行(BRI1)		724,046		
--インドネシア国営銀行(BNI)		100,651		
未収金		506,053		
--放送料		506,053		
流動資産合計			15,821,636	
固定資産				
建物付属設備		1		
什器備品		434,757		
電話加入権		114,984		
固定資産合計			549,742	
資産合計				16,371,378
負債の部				
流動負債				
未払金		1,561,179		
--その他諸経費		1,561,179		
未払法人税等		72,000		
前受金		5,063,890		
預り金		103,270		
--源泉所得税(給与)		30,765		
--源泉所得税(謝金)		38,005		
--義援金預かり		34,500		
未払消費税		665,700		
流動負債合計			7,466,039	
固定負債				
長期借入金		4,038,000		
固定負債合計			4,038,000	
負債合計				11,504,039
正味財産合計				4,867,339

財務諸表の注記

特定非営利活動法人エフエムわいわい

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で焼却しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込み経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(四)

[illegible]

	科目名	コミュニティメディア	イベント・運営	コンテンツ・制作	災害	コミュニティメディア	JICA草の根事業	事業部門計	管理部門	合計
	消耗品費	208,093	25,935	2,993	0	5,985	109,252	352,258	26,932	379,190
	研修費	0	0	0	0	7,650	0	7,650	0	7,650
	海外活動諸費	0	0	0	0	0	2,255,079	2,255,079	0	2,255,079
	印刷製本費	6,055	883	102	0	204	6,687	13,931	917	14,848
	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	8,564	8,564
	国内活動業務費	0	0	0	0	0	130,260	130,260	0	130,260
	事業関連経費	0	0	0	0	0	128,195	128,195	0	128,195
	保険料	0	0	0	0	0	0	0	21,000	21,000
	水道光熱費	0	0	0	0	0	52,645	52,645	19,832	72,477
	顧問料	0	0	0	0	0	0	0	110,000	110,000
	外注費	19,400	0	0	0	0	0	19,400	0	19,400
	委託費	546,310	273,506	240,000	305,000	183,660	66,000	1,614,476	183,000	1,797,476
	諸会費	0	0	0	0	0	0	0	116,500	116,500
	支払手数料	2,697	0	540	0	0	11,793	15,030	28,956	43,986
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	665,700	665,700
	租税公課	0	0	0	0	0	2,159	2,159	110,200	112,359
	寄付金支出	414,545	94,545	10,909	0	21,818	80,000	621,817	98,183	720,000
	雑費	265	0	0	0	0	0	265	7,695	7,960
	減価償却費	360,366	0	0	0	0	0	360,366	0	360,366
	【その他費用計】	2,138,969	406,287	255,861	577,240	224,652	2,981,102	6,584,111	1,998,989	8,583,100
	経常費用合計	2,138,969	406,287	255,861	577,240	224,652	8,842,102	12,445,111	2,336,025	14,781,136
	当期経常増減額	906,172	-406,287	314,139	236,060	119,056	0	1,169,140	656,991	1,826,131
	2.経常外増減の部									
	(1)経常外収益									
	過年度損益修正益	0	0	0	0	0	67,303	67,303	0	67,303
	経常外収益合計	0	0	0	0	0	67,303	67,303	0	67,303
	(2)経常外費用									
	為替差損	0	0	0	0	0	42,200	42,200	0	42,200
	過年度損益修正損	0	0	0	4	0	0	4	0	4
	経常外費用合計	0	0	0	4	0	42,200	42,204	0	42,204
	税引前当期正味財産増減額	906,172	-406,287	314,139	236,056	119,056	25,103	1,194,239	656,991	1,851,230
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	72,000	72,000
	当期正味財産増減額	906,172	-406,287	314,139	236,056	119,056	25,103	1,194,239	584,991	1,779,230

3. 使途等が制約された寄付金・助成金の内訳
使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
寄附金	0				
プロジェクトM	0	500,000	163,898	336,102	
助成金	0				
赤い羽根共同募金	0	200,000	57,137	142,863	
神戸市	0	222,853	222,853	0	
合計	0	922,853	443,888	478,965	

4. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物附属設備	2,500,000	0	0	2,500,000	2,499,999	1
什器備品	4,905,104	118,800	0	4,905,104	4,589,147	434,757
合計	7,405,104	118,800	0	7,405,104	7,089,146	434,758

5. 借入金の増減の内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	4,674,000	0	636,000	4,038,000